

終業式校長講話

「心の成長と共に感謝の気持ちを、」



関工では、平成28年3月22日に終業式・離任式が第一体育館で行われました。終業式の校長講話では、進級できた皆さんに「心の成長と共に感謝の気持ちを素直に表せる人になってほしい!」とお話がありました。

校長先生は、皆さんの進級を祝福すると共に、進級認定とは学習評価だけではないこと、そして1年間を通じた学習活動や部活動を通して、その取組みが「心の成長」を促し人間力を高めることが出来たかを含めて、総合的に評価したことを全校生徒に伝えました。

また、終業式とは、関工生として相応しい取組みが出来たかを自分自身が振り返り、気持ちを新たに作る時間であることを教えていただきました。

今年は、関工の頑張りを地域や県内外にアピールできたことで、入試応募者数が11年ぶりに全学科の定員を超え、電気科と電子機械科においては、それぞれ41名と計162名の新生を迎えることになりました。このことから、関工生は常に注目されているという事を心がけて行動して欲しいと思います。

校長講話の終わりには、春の選抜大会に出場した釜石高校のお話がありました。

今、春の選抜大会が甲子園球場で開催されています。東北ブロックでは釜石高校野球部が21世紀枠として出場を果し、初戦を勝利することができました。岩手の高校球児を代表して頑張ってくれたことに感謝したいと思います。特に感動したのは、彼らが支援者への感謝の想いをプレイで精一杯表現したことであり、その結果が良い形で現れたのだと思いました。感謝の気持ちが強い分だけプラスαの力を出せるのです。

また、部活動は、練習だけでなく自らの心を鍛えるために何をしなければならないのかを考えることも大切です。現在、校舎内に掲示している、「全てに本気で取り組む関工生【関エプライド&関エコンフィデンス】」は、これからの関工生が目指す姿を示していると思います。そして、離任式に来てくれた100名もの卒業生に感謝します。頑張れ関工卒業生!

さあ、4月から新生を迎えて、また始まります。全てに本気の一関工業!

～ いま 関工がおもしろい ～



岩手県立一関工業高等学校

担任力・授業力・顧問力で「18歳の自立」を目指します!



平成27年度の関工の活躍

本気です。一関工業

